

医危第2733号
令和4年1月6日

神奈川県モデル認定医療機関 院長 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治
(公 印 省 略)

病床確保フェーズ「1」から「3」への引上げについて（要請）

本日、病床確保フェーズを「1」から「3」に引き上げることを決定しましたので、重症病床、中等症・軽症病床ともに、本日から3週間で、病床確保フェーズ「3」の確保病床まで即応病床を拡大していただきますようお願いします。

昨年末に開催した神奈川県モデル認定医療機関会議で、オミクロン株の患者が3日間平均で1日当たり20人発生した場合は、病床確保フェーズを「1」から「3」に引き上げることを説明させていただきました。

オミクロン株の確定のためのゲノム解析には数日を要する中で、オミクロン株の患者として推定できるL452R（デルタ株）陰性の患者数が令和4年1月3日から1月5日までの3日間で計60人（3日間平均20人）となったため、本日、病床確保フェーズを「3」に引き上げることとしました。

また、英国で実際に観測された倍加速度から本県におけるオミクロン株の患者の拡大を試算すると、今月末には1日の新規感染者が1万人を超える可能性があり、今後、本県におけるオミクロン株の患者の急増に伴う入院患者の増加が強く懸念されていますので、即応病床の拡大に御理解と御協力をお願いします。

なお、全員入院かつPCR検査等による2回の陰性確認が必要とされていたオミクロン株の患者の入退院基準については、本日付けで変更しており、別途通知を發出しておりますので、併せて御確認くださいようお願いします。